



WEEKLY REPORT ROTARYCLUB OF hakusanishikawa

ガバナー方針:「クラブの未来を考えよう」 夙々基本方針:「ロータリーで楽しもう「無限の機会への招待」」

白山石川ロータリークラブ

2020年7月16日 No.877

会長:野澤誠治 幹事:藤本和久 公共イニシアチブ委員長:池元ことみ

クラブ会報委員長:多田 茂 副委員長:安田晶一 委員 山内 隆・新陽一郎・西田直樹

事務局/白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

◆会長挨拶 (野澤誠治 会長)



皆様 こんにちは。
本日は、宮本ガバナー補佐と
例会前に会長・幹事懇談会を
させて頂きました。
宮本会長補佐におかれまし
ては、このコロナ禍の大変な

中、本当にありがとうございます。

後ほど「稼業 50 年を顧みて」の卓話を頂きます。何卒よろしくお願いたします。

通年であれば、例会後にクラブ協議会を行わせて頂いていますが、今回は中止とさせて頂いております。皆様ご了承ください。

そして、次回例会は八塚ガバナーにご訪問を頂く例会となっておりますが、こちらも前回皆様にお伝えしました通りで、2610 地区方針といたしましてロータリアンの安全が重要であるとの基本原則からリモート例会もしくはビデオ例会の開催となりました。

当クラブは、ビデオ例会を選択させて頂きました。先々週 DVD が届きまして、確認の意味もあり先に観させていただきましたが、八塚 2610 地区ガバナーと、なんと R1 会長ホルガークナーク氏が出ておられました。本来であれば世界大会に行かなければ聞く事の出来ない声も聞くことが出来ますので、どうぞ皆様、来週の例会も楽しみにして頂きたいと思っております。

本当であれば、来週が東京 2020 オリンピックの開会式の日でした。大変残念に思いますが、今は会社も個人も耐え、自粛しながらではありますが、今できる事を模索しながら頑張っていきたいと思います。

◆お客様の紹介

RI 第 2610 地区
石川第 1 グループ B ガバナー補佐
宮本 哲一様(白山 RC)

◆幹事報告 (藤本和久 幹事)

7/13 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 ハイライトよねやま 244号が届く。

7/13 ガバナー事務所 ガバナー公式訪問 (WEB 会議) のご案内が届く。会長・幹事懇談会 2020年7月30日(木) 17時30分～18時15分 WEB 会議開催10分前にはミーティングに参加してください。

7/14 クラブ会員拡大・増強委員長会議 開催中止のご案内が届く。



◆委員会報告

- ・山内 隆 職業分類・R 情報委員長
- ・竹田 佳一 炉辺会合委員長



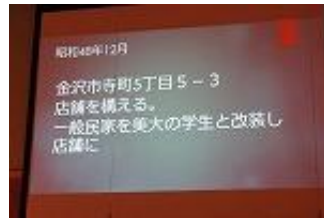
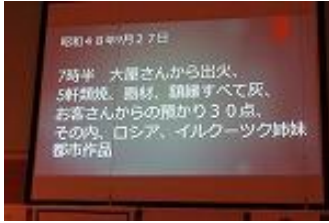
◆プログラム 卓話

RI 第 2610 地区石川第 1 グループ B ガバナー補佐

宮本 哲一氏(白山 RC)

演 題 「稼業 50 年を顧みて」





◆出席報告(西田直樹 委員長)

- 出席率： 85.29%
- 出席者： 28名 /34名
- 出席免除者：なし
- メーキャップ：1名

7/12 区青少年交換委員会

地区内クラブ国際青少年交換委員長会議 永瀬 喜子



◆ニコニコボックスの発表(新陽一郎 委員長)

RI2610 地区石川第1グループB

ガバナー補佐 宮本 哲一様

久し振りにクラブ訪問をさせていただきます。

野澤 誠治 会長 ガバナー補佐

宮本様、本日は誠にありがとうございます

います。卓話頂きましてありがとうございます。

藤本 和久 幹事 宮本ガバナー補佐様、本日は卓話ありがとうございました。今年一年宜しくお願ひします。

池元 ことみ ガバナー補佐 宮本哲一様、ようこそ!!

今日は卓話ありがとうございました。

浅野 昭利 ガバナー補佐 宮本哲一様、一年間ご苦勞様です。

永瀬 喜子 ガバナー補佐 宮本哲一様、今日のご訪問ありがとうございます。一年間宜しくご教示くださいませ。

リヴァイが帰国し、ちょうど一週間です。犬の散歩をしながら毎日泣いています。自分でもびっくりです。

武藤 一彦 大雨に続いて熱波という感じでしょうか。穏やかな春の訪れが待ち遠しいです。自然災害に見込まれた国、日本よサラバ!

竹田 佳一 てっきり今日、交換留学生リヴァイ君の帰国だと思い、朝7時に藤本幹事に電話してしまい申し訳なかったです。

新 陽一郎 宮本ガバナー補佐、ようこそお越しくださいました。卓話大変にありがとうございます。

◆ちょっと読んでみてください

「人事をつくして天命を待つ」ということばがある。まことに 味わい深いことばである。

私心にとられることなく、人としてなしうるかぎりの力をつくして、そのうえで、静かに起こってくる事態を待つ。

それは期待どおりのことであるかもしれないし、期待にそむくことであるかもしれない。

しかしいずれにしても、それはわが力を越えたものであり、人事をつくしたかぎりにおいては、うろたえず、あわてず、心静かにその事態を迎えねばならない。

そのなかからまた次の新しい道がひらけてくるであろう。

こうした心境の尊さを人みなが知り、その境地をかみしめつつ、それぞれが、それぞれのつとめをつくしたならば、この世の中は、もっと静かになるかもしれない。

天命とは、これだけのことをつくしたから、これだけの結果があたえられるという、そんな計算の成り立つものではない。

まして、私心多くなすべき人事もつくさずに、いたずらに都合よき成果のみを期待するは、天命を知らざることはなほだしいといわねばなるまい。

めまぐるしい利害の波の日々の中ではあるけれども、時におたがいに三省してみたいものである。

松下 幸之助 〈〈道をひらく〉〉より

本日合計 15,500円

今年度累計 74,000円